

主題：ヨベル

メッセージ 1

ヨベルとキリスト

聖書：ルカ 4:18-19. 9:20, 22. 24:26

- I. ヨベルの年は、わたしたちが束縛から解放され、キリストをわたしたちの分として享受する権利を回復することができることを示します。ヨベルの宣言は、奴隷状態からの解放と、わたしたちの霊的な長子の権を享受することの宣言です——レビ 25:8-17：
- A. 主の受け入れる年は、ヨベルの年で予表される新約時代であり、神が戻って来た罪の捕囚を受け入れ、罪の束縛の下にしいたげられている者が、神の救いの解放を享受する時です——ルカ 4:19. イザヤ 49:8. II コリント 6:2。
- B. ヨベルの宣言は、第七の月の十日、すなわち罪を覆う日にありました。これは、ヨベルが、キリストにある神の完全な救いに基づいていることを示します——レビ 25:9。
- II. ルカは彼の福音書を、ヨベルの観点から書きました—— 4:18-19：
- A. 第4章で告知されたヨベルの観念は、ルカにおける以下のすべての章を支配します。
- B. わたしたちは、ルカ第5章から第24章に記録されていることを、ルカ第4章で宣告されたヨベルの一部と考えるべきです。
- III. ヨベルが遂行されるために、キリストの必要があります—— 9:20. 24:26. マタイ 16:16. ヨハネ 20:31. I ヨハネ 2:22. 5:1：
- A. キリストは神の油塗られた方、神の定められた御旨、彼の永遠のご計画を達成するために、神によって定められた方です——マタイ 16:16. ダニエル 9:26：
1. 「キリスト」は、主の職務、委託にしたがった称号です。「神の御子」は、彼のパーソンにしたがった称号です——ヨハネ 20:31。
 2. 「キリスト」という称号は、主の委託を指しており、彼の十字架、復活、昇天、再来を通して、神の永遠の定められた御旨を達成するためです——ルカ 9:20。
- B. キリストのないヨベル、神によって定められ、油塗られた方のないヨベルはあり得ません—— 4:18-19. 9:20：
1. 神の油塗られた方を離れて、真のヨベルはあり得ません—— 24:26。
 2. この方が来たとき、ヨベルを彼と共にもたらしました。実は、彼が入って来ると自体がヨベルです—— 1:69. 2:11, 30. 19:9。
- C. ヨベルは、わたしたちの享受のための、三一の神の具体化としてのキリストです——コロサイ 2:9. 1:12-13。
- IV. 最高水準の道徳——神聖な属性を伴う神聖な性質と、人性の美德を伴う人の性質とのミングリング——は、ヨベルのためです——ルカ 1:32-33, 35. 4:18-19：
- A. 主イエスは、最高水準の道徳にある生活をしました—— 10:30-37。
- B. そのような生活はヨベルのためです。なぜなら、命がわたしたちをすべての束縛から自由にし、わたしたちをキリストにある三一の神の享受の中にもたからすからです

—— 19:1-10。

C. 人・救い主の最高水準の道徳は、彼のダイナミックな救いの資格と基本的な要因を構成します—— 1:31-33, 35. 2:20, 40. 3:6. 19:9。

V. 主イエスの務めはヨベルの務めでした—— 4:18-19 :

A. 主イエスは彼の務めを、恵みのヨベルを宣言することによって開始しました—— 19節。

B. 人・救い主はわたしたちを、束縛からヨベルの中に救いました。彼はわたしたちを、ヨベルの自由、享受、満足、安息の中に救います—— 13:10-17。

VI. ヨベルのために、キリストが死んですべてを含む贖いを達成し、復活の中に入ることが必要でした—— 9:20, 22. 23:26-43. 24:6-7, 26 :

A. わたしたちは、キリストが死んで、わたしたちを束縛から自由にする必要があることを見る必要があります—— 22:53. 23:44-46. 24:26 :

1. キリストは彼のすべてを含む贖いを通して、わたしたちがあらゆる種類の束縛から解放される条件を満たしました——ヘブル 9:12. ローマ 3:24. エペソ 1:7. コロサイ 1:14。

2. コロサイ第2章 14節から 15節は、キリストの十字架の時に起こった戦いを描写しています :

a. 神、キリスト、邪悪な天使の支配たちや権威たちを含む活動は、十字架上での焦点にもたらされました。ですから、その時、十字架は宇宙の中心でした—— 14-15節。

b. キリストは彼の十字架によって、労苦して贖いを達成し、父なる神は働いて、罪を裁き、律法を十字架に釘づけていました—— 14節。

c. 同じ時、邪悪な支配たちや権威たちは忙しくして、神とキリストの働きを妨害し、神とキリストに押し迫っていました。ですから、戦いは十字架において激烈でした。

d. 神は邪悪な天使の支配たちや権威たちを、十字架上で公然とさらしものにして、そこにおいて彼らに勝ち誇り、彼らを辱めました—— 15節。

3. キリストは十字架での彼の死を通して、死の権能を持つ悪魔を滅ぼしました——ヘブル 2:14。

4. 十字架上でのキリストの死によって、サタンの反逆の基礎は揺るがされ、サタンの地上の王国のとりでは崩され、死とハデスの力は征服され、服従させられました——マタイ 27:51-52。

B. キリストが復活させられて、わたしたちを神聖な嗣業の享受の中にもたす必要がありました。その嗣業とは、手順を経て究極的に完成され、わたしたちの享受のためにすべてを含む霊と成った三一の神です—— I コリント15:45後半. II コリント3:17。

C. キリストの死は完全な贖いを達成し、わたしたちをすべての消極的なものから自由にし、彼の復活はわたしたちを積極的に、三一の神の享受の中にもたしました。これがヨベルです——ルカ 24:26. コロサイ 2:14-15. 1:12-13。